

商工省鑛産局

昭和二年本邦鑛業ノ趨勢

凡 例

- 一 本書ハ主トシテ昭和二年中ニ於ケル本邦内地鑛業ノ概況ヲ輯録シタルモノナリ
但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ於ケル鑛業ニ關シテハ參考ノ爲メ各主管廳ノ調査ニ依リ
其ノ要領ヲ附録トシテ載録セリ
- 一 大正十五年
昭和元年本邦鑛業ノ趨勢ニ掲ケタル同年及其ノ以前ニ係ル統計ニシテ本書ト對
比シ差異アルモノハ本書ニ掲クルモノヲ以テ正トス
- 一 輸出入ニ關スル事項ハ大藏省主稅局ノ調査ニ據リタリ
昭和三年十月

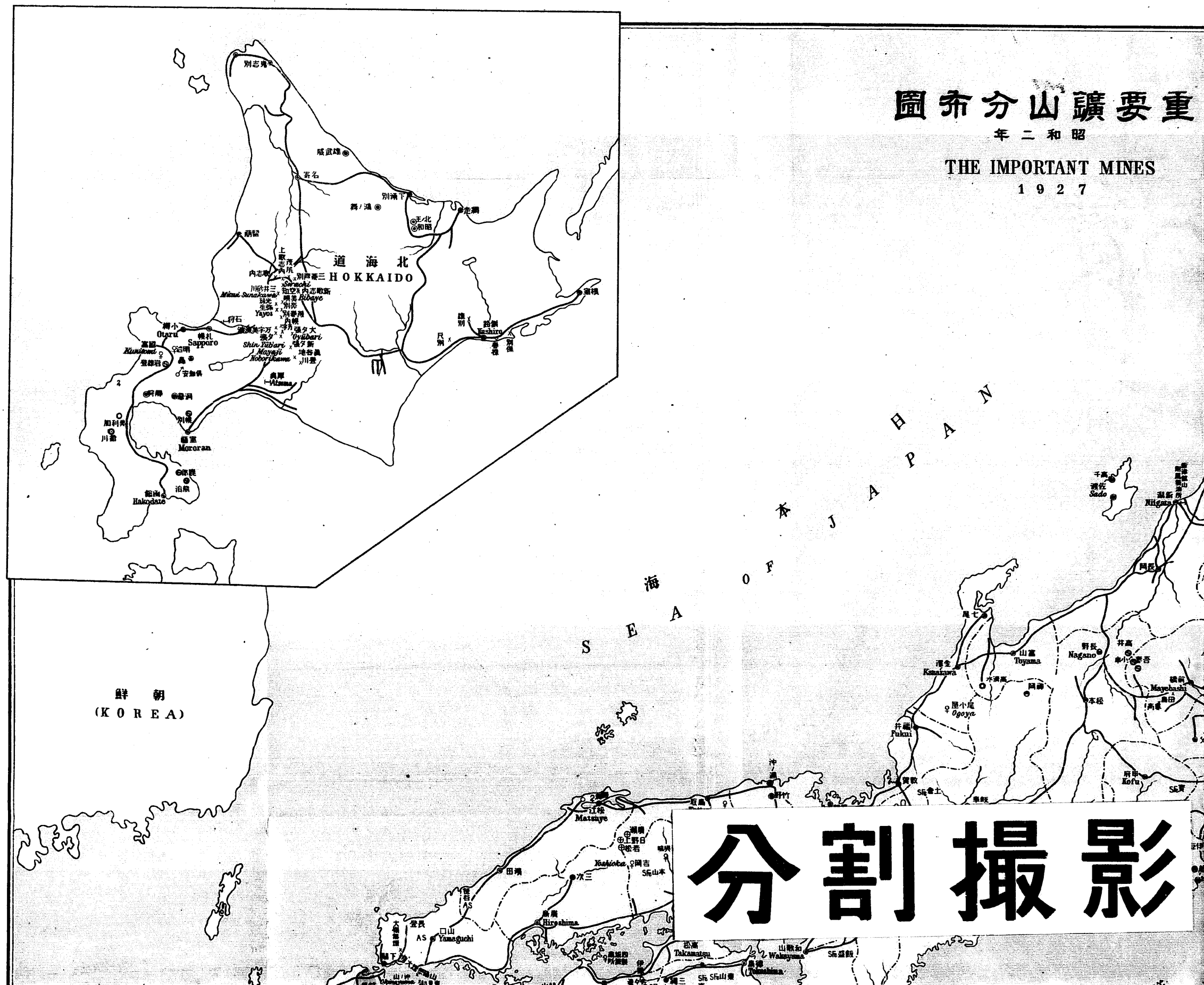
商 工 省 鑛 山 局

重慶山分佈圖

昭和二年

THE IMPORTANT MINES

1 9 2 7



重 要 鑛 山 分 布 圖

昭和二年

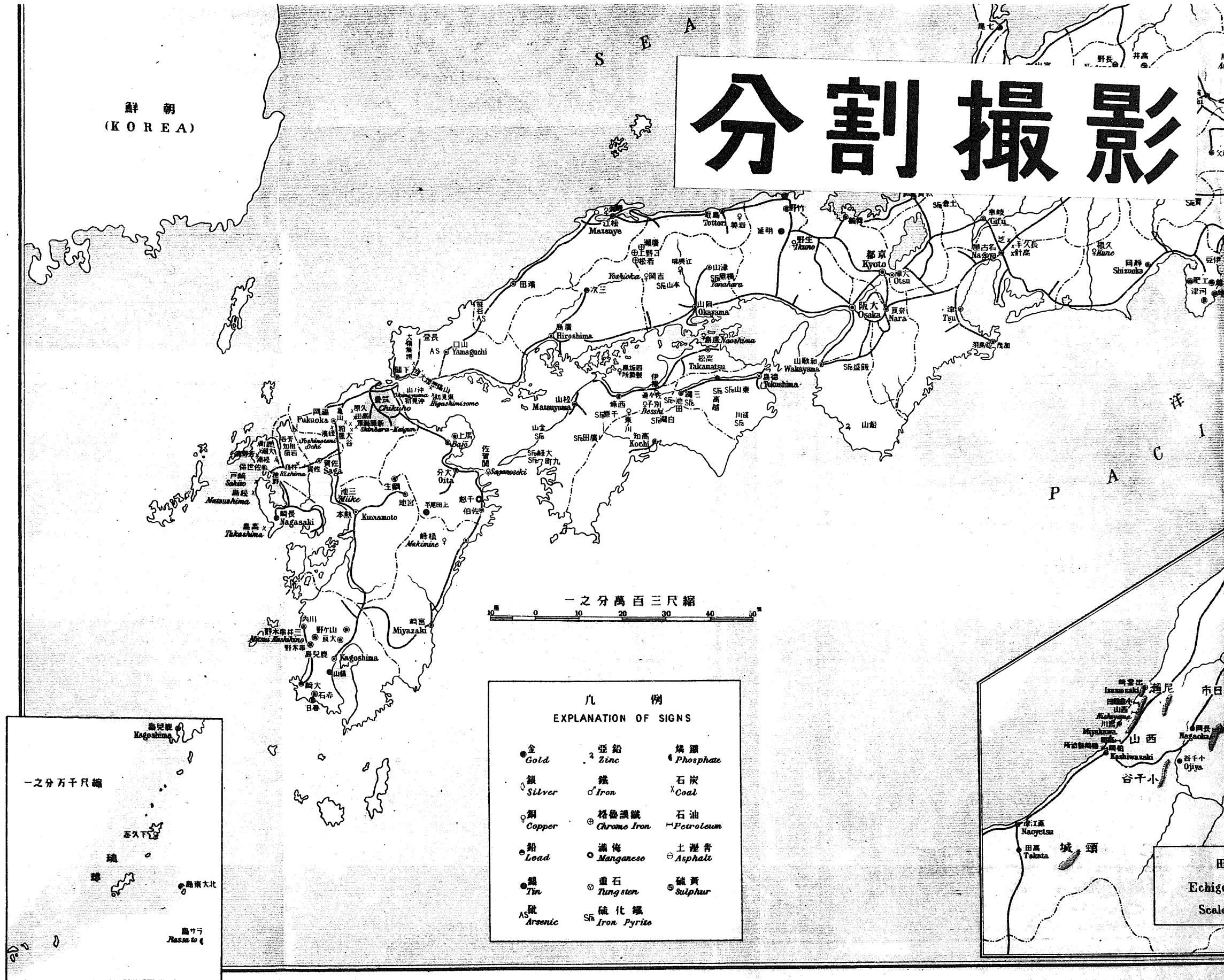
THE IMPORTANT MINES

1927



朝鮮
(KOREA)

分割撮影



一之分萬百三尺縮

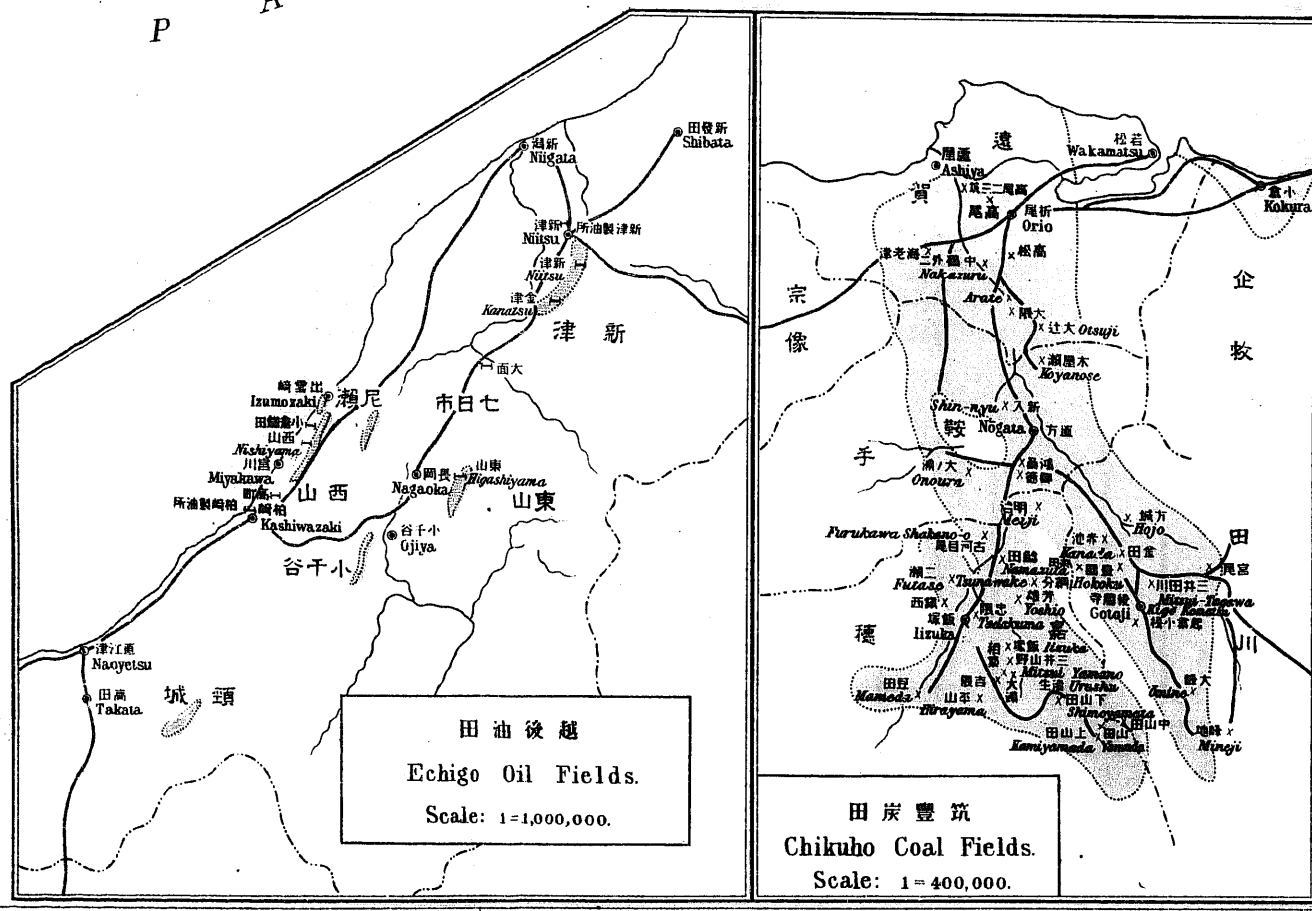
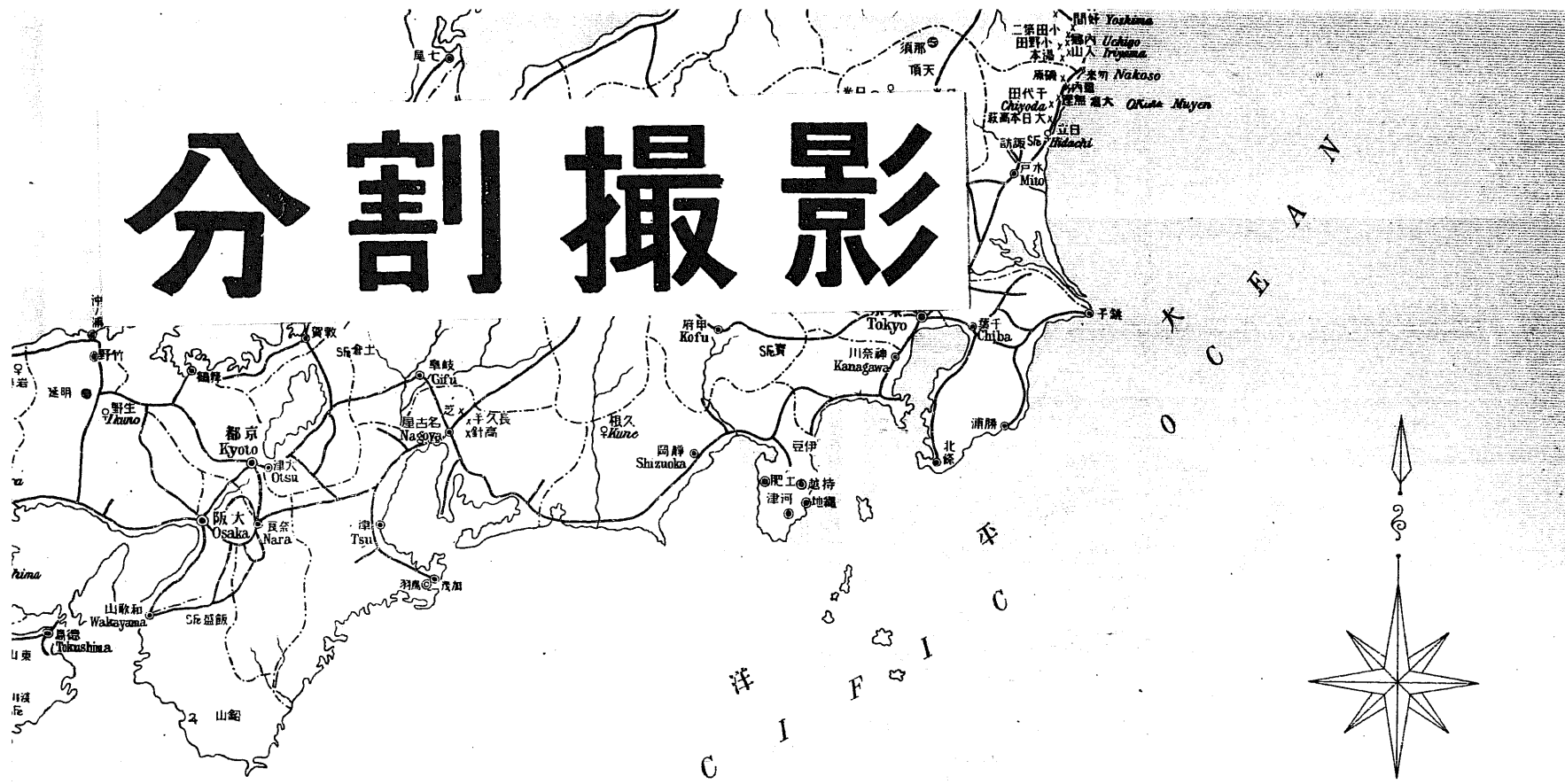
凡例 EXPLANATION OF SIGNS

- | | | |
|-----------------|------------------------------------|-------------------|
| ● 金
Gold | △ 亞鉛
Zinc | ● 磷礦
Phosphate |
| ○ 銀
Silver | ○ 鐵
Iron | × 石炭
Coal |
| ○ 銅
Copper | ⊕ 雜鐵
Chrome Iron | — 石油
Petroleum |
| ● 鉛
Lead | ○ 錳
Manganese | ⊖ 土瀝青
Asphalt |
| ● 錫
Tin | ○ 重石
Tungsten | ⊙ 硫黃
Sulphur |
| AS 砒
Arsenic | S _{Fe} 硫磺鐵
Iron Pyrite | |

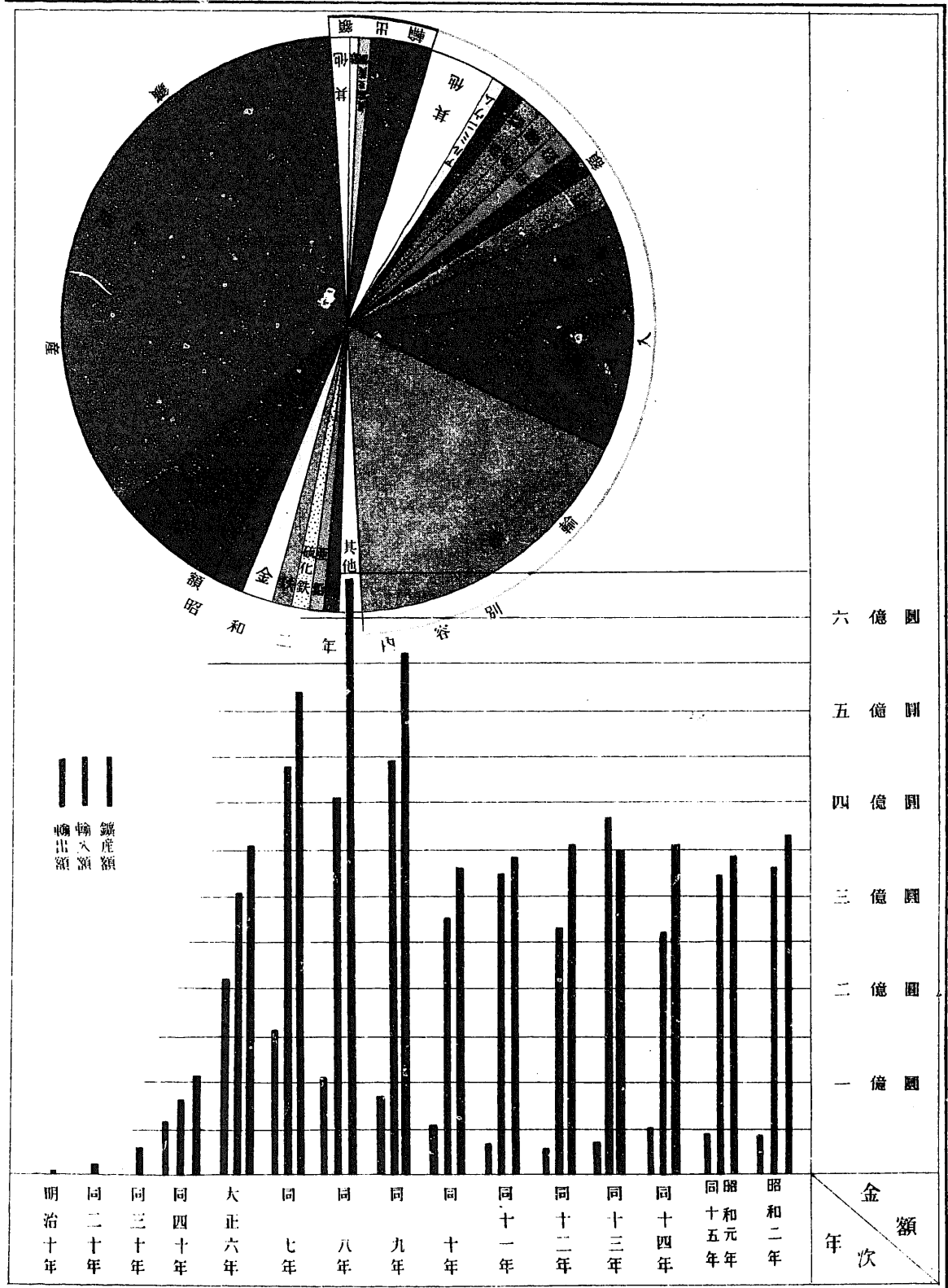
一之分萬千尺縮

Echigo
Scale

分割撮影



鑛產額及鑛產物輸出入累年比較表



昭和二年本邦鑛業ノ趨勢 目次

總 說	一
-----	---

第一章 鑛業出願	一
----------	---

鑛業出願件數累年比較	一
------------	---

鑛種別出願件數	一
---------	---

地方別出願件數	四
---------	---

第二章 鑛 區	一七
---------	----

試 掘	一七
-----	----

採 掘	一九
-----	----

砂 鑛	二二
-----	----

地方別鑛區及砂鑛區數	二三
------------	----

鑛種別地方別試採掘鑛區數	二八
--------------	----

第三章 鑛 產 額	四七
-----------	----

概況	四七
----	----

昭和二年鑛產額(前年トノ比較)	四八
-----------------	----

鑛產額累年比較	五〇
---------	----

主要鑛山產出狀況一斑(最近五箇年累年比較)	五五
-----------------------	----

昭和二年地方別鑛產額	七〇
------------	----

世界ノ鑛產額(自一九二二年至一九二六年)	八二
----------------------	----

第四章 鑛產物ノ輸出入	九一
-------------	----

概況	九一
----	----

鑛產物輸出國別(最近五箇年累年比較)	九二
--------------------	----

鑛產物輸入國別(同上)	九五
-------------	----

第五章 鑛產物ノ市況及市價	一〇三
---------------	-----

鑛產物ノ市況(銅、石炭、石油)	一〇三
-----------------	-----

鑛產物ノ市價	一〇六
--------	-----

第六章 鑛山事業ノ概況	一一五
-------------	-----

各種鑛業ノ概況	一一五
操業方法及設備ノ概況	一二四
新ニ事業ニ著手シタル鑛山	一七九
事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鑛山	二〇五
事業ヲ縮少シ又ハ休止シタル鑛山	二九九
稼業鑛山數	三一二

第七章 製鐵業

概況	三一七
銑鐵、鋼鐵及鋼材生産額(最近十箇年間累年比較)	三一七
主要製鐵所別鐵鋼材生産額(最近五箇年同上)	三二〇
内地銑鐵及鋼材需給高(最近十箇年同上)	三二四

第八章 鑛業會社(鑛業別會社數、資本額、其他)

會社總數	三二七
合名會社	三二八
合資會社	三二九

株式會社	三三一
------	-----

第九章 鑛 夫	三三三
---------	-----

概 要	三三三
-----	-----

年齡別鑛夫人員	三三三
---------	-----

作業別年齡別鑛夫人員	三三四
------------	-----

鑛夫ノ分布	三三八
-------	-----

鑛夫人員前年トノ増減比較	三四五
--------------	-----

坑内外別男女別鑛夫總人員累年比較(自大正十二年至昭和二年)	三四六
-------------------------------	-----

第十章 鑛 夫 賃 金(大正十五年下期以降)	三四九
------------------------	-----

金 屬 山	三四九
-------	-----

石 炭 山	三五四
-------	-----

石 油 山	三五八
-------	-----

其他ノ非金屬山	三六〇
---------	-----

第十一章 鑛山變災事故及鑛夫死傷病者	三六五
--------------------	-----

附 表

變災事故及鑛夫死傷者	三六五
鑛夫死傷病者	三七八

附 錄

朝鮮、臺灣及樺太ニ於ケル鑛業

第一表	鑛山別產額表金屬山	一
第二表	同 石炭山	一九
第三表	同 石油山	三七
第四表	同 非金屬山(石炭、石油以外ノ)	三九
第五表	鑛產物輸出表(自大正十二年至昭和二年)	四三
第六表	鑛產物輸入表(同)	四七

朝鮮

總 說	一
一 鑛業ノ出願	三
二 鑛 區	一〇
三 鑛 產 額	一九

四	主要鑛業ノ概況	二八
五	新ニ事業ニ著手シタル鑛山	二九
六	事業ヲ擴張セル鑛山	三三
七	新重要鑛山	四〇
八	鑛夫	五〇
九	鑛山變災	五四
附	表	
	鑛山別產額表	五八
	鑛產物輸移出表	六二
	鑛產物輸移入表	六四
臺	灣	
出	願	六七
鑛	區	六八
鑛	產	七一
主要鑛山ノ事業概況		七三
樺	太	
出	願	一〇五

鑛區.....一〇五

鑛產及稼業鑛區.....一〇七

(目次了)

目

次

昭和二年本邦鑛業ノ趨勢

總 說

昭和二年中ニ於ケル本邦鑛業界ハ一般經濟界カ金融恐慌ノ勃發ニ因リ其不振更ニ深刻ヲ加ヘ又金屬、石油等ノ市價カ海外市況ノ不振ニ伴ヒ前年ニ比シ更ニ一段ノ低落ヲ示シ且鑛產物ノ貿易關係亦好轉ノ機運ニ接セサルモノアル等之ヲ概觀セハ依然沈衰ノ裡ニ推移シタリ、唯石炭鑛業ノミハ前年下期ニ於テ好勢ニ轉シタル以來石炭ノ需要引續キ旺盛ナリシガ爲稍活況ヲ呈シタリ

鑛業出願ハ試掘五千三百二十三件、採掘五十八件、砂鑛三百八十五件、合計五千七百六十六件ニシテ前年ニ比シ試掘三百二十二件(六分)、採掘四件(六分)ヲ減少シ砂鑛二十七件(八分)ヲ増加セリ

鑛區ハ年末現在ニ於テ試掘七千三百四十三、採掘四千九百九十三、砂鑛二千三百三十九ニシテ前年ニ比シ試掘二百九十九件(四分)採掘百六(二分)ヲ減少シ砂鑛五十六(二分)ヲ増加シタリ

鑛產物ハ其總價額三億六千八百五十六萬八千四百四十三圓ニシテ金屬、石油等一般ニ市價低落セルカ爲主要鑛產物價額ハ概シテ減少シ増產ヲ見タルモノニ在リテモ其割合ニ價額ノ増加ヲ見サリシト雖モ最モ主要ナル石炭ニ於テ產額増加ト共ニ幾分市價ノ昂騰ヲ見タル爲總價額ニ於テ前年ニ比シ二千六百八十八萬七千九百四十四圓(六分三厘)ヲ増加シタリ

鑛產物ノ貿易ハ輸出四千六百六十八萬五千二百七十七圓、輸入三億二千九百九萬三千八百三十四圓、合計三億七千七十七萬九千百一十一圓ニシテ前年ニ比シ輸出ニ於テ七百九萬六千二百八十三圓(一割五分)ヲ減シ輸入ニ於テ六百四十七萬九千七

百二十八圓（二分）ヲ増加シタリ、輸出ノ減少ハ主トシテ輸出鑛產物中最モ主要ナル石炭カ内地ニ於ケル需要旺盛ノ結果輸出カ稍閑却セラレタルニ基因シ又輸入ノ増加ハ外油カ米國ノ増産ニ伴ヒ本邦市場ヘノ侵蝕益熾烈トナリ輸入著シク増加シタルニ職由ス

製鐵業ハ引續キ外國品ノ壓迫ト一般經濟界不況ノ爲不振ノ裡ニ經過セリト雖モ五六月頃ヨリ市價昂騰ノ傾向ヲ示シタルト當業者カ引續キ大量生産ノ方針ヲ採リタルカ爲銑鐵ニ於テ八萬六千匁（一割一分）鋼材ニ於テ七萬匁（五分）ノ生産増加ヲ見タリ